

# 野球 ～豆知識～

ルール編①

「振り逃げ」とは

打者がストライクを3回宣告されると、その打者には三振が記録される。しかしながら、一塁に走者がいない、もしくは二死の状況で、第3ストライクにあたる投球を捕手が正規の捕球（後述）を果たせなかった場合には、打者は一塁への進塁を試みることができる。このとき打者をアウトにするには、打者が一塁に到達する前に打者または一塁に触球しなければならない。打者がアウトにならずに一塁に到達すると、走者として一塁を占有することができる。

このプレイを日本では一般に振り逃げという俗称で呼んでいる。英語においてはUncaught third strike、もしくはDropped third strikeと呼ばれる（いずれも「捕球されなかった第3ストライク」の意）。

Wikipedia引用

# 野球 ～豆知識～

ルール編

## 「振り逃げ」の成立条件

振り逃げしていい状況とは、下記条件を満たしている場合。

- ①第3ストライクが宣告された
- ②捕手が正規捕球できていないこと
- ③2アウトの時を除いて1塁走者がいないこと
- ④2アウトの場合は無条件で発生します。

①は、第3ストライクが宣告された時です。

記録上は打者は三振になります。

そのため、1イニングで1人目と2人目の打者が三振、3人目の打者が振り逃げ、4人目の打者が三振すると、1イニングに4つの三振となる場合があります。

②正規捕球とは、ピッチャーが投げた球をノーバウンドでキャッチャーが捕ることです。

キャッチャーが捕る前にワンバウンドしたり、ノーバウンドでキャッチャーが落球したり、パスボールした場合は正規捕球となりません。ワンバウンドの投球やキャッチャーが捕れない投球は、ボール球の場合が多いことから、第3ストライクが成立する時は空振りの場合が多いです。

“振り逃げ”という名前からしても、見逃し三振は振り逃げにならないと誤解している人も多いかもしれません。見逃し三振でも『振り逃げ』になりますので、キャッチャーが捕球できない場合はOKなのです。

③0アウトもしくは1アウトの時に1塁走者がいる場合は、振り逃げはできません。この場合、第3ストライクが宣告された時点で、バッターはアウトになります。

0アウトもしくは1アウトの場合はダメで、2アウトの時は良い理由は、0アウトもしくは1アウトの時はキャッチャーが故意に落球して、ダブルプレーを取ることができるので、0アウトもしくは1アウトの時の振り逃げを禁止しています。

振り逃げが成立した場合に守備側が、アウトを取るには、打者にタッチするか、フォースプレーになるので、1塁に送球すればアウトになります。2アウトで1塁走者がいる場合は、振り逃げOKなので、この場合は2塁に送球してもフォースアウトを取ることができます。

もし2アウト満塁の時の振り逃げは、ボールを捕ったら、本塁を踏めばフォースアウトになります。